



雨の中でも楽しかった夏祭り

「楽しい景品が、たくさんある〇〇へ、どうぞ」と廊下の向こうから、元気な呼び声が聞こえてきます。

そうです、24日(土)は、幼稚園名物の夏祭りです。あちこちのコーナーから、子どもたちの笑い声やお手伝いのお母さん方の呼び声が聞こえてきます。

企画委員さんが、連日、保護者会室で話し合いを重ね、着々と準備を進めてこられたお陰で、この日を迎えることができました。企画委員さんは、早めに来園し、看板の設置や各コーナーの店づくりを整え、子どもたちの登園を待たれました。

新園舎では、少々の雨でも大概の行事をこなせる構造となっていますから、夏祭りについてもさほど心配はしませんでした。まさか、本格的な雨になるとは・・・。昨年に引き続き、雨に見舞われましたが、盆踊りを教室で行った以外は、ほとんど予定通りに夏祭りを進めることができました。

らいおん組のお父様方も大活躍です。まず登園後すぐに、プールの片づけ、テント張り、そしてソーセージの販売と手際よく動いていただきました。雨で少し寒かったこともあってか、昨年度より売れ行きが好調で、短時間で完売したために、列を作って順番待ちの多くの方が、残念がっておられました。昨年と同じ数の販売でしたが、「これならもっと販売数を増やしてもよかったのではないか」というお父さん方の声が聞かれました。

外は雨でも、室内の各コーナーは盛況で、廊下ですれ違うのが大変な状態でした。玉入れコーナーでは、景品渡しを担当するお母さんのお手伝いをする年中のお友達もいました。ゲームに夢中になって参加することが、子どもたちの役割ですが、こうしてお母さんを手伝うのも、“みんなで作り上げる夏祭り”という感じがしてとてもいいですね。

新園舎で初めての夏祭り、しかも、雨の中での夏祭りということでしたから、いろいろな面で反省することが出てきたようです。特に、混雑を防ぐための導線について、検討する必要があるようです。



2学期は楽しいことがたくさん

夏祭りの日を境に、急に気温が下がり、秋を思わせる気候になった27日(火)に、2学期の始園式を行いました。夏祭りでも元気な子どもたちの顔を見ましたが、始園式でも明るい子どもたちの笑顔を見て、職員一同、嬉しく思いました。やはり幼稚園としては、全員が元気な姿を見せるのが一番で、職員に勇気を与えてくれます。子どもたちが誰一人として熱射病や熱中症、水の事故に遭わずに、元気な姿を見せてくれたことが、何よりです。

儀式(始園式や終園式等)で、園歌を歌うのが定着し、今では、年少さんも大きな声で歌うことができるようになりました。

さて、2学期は、運動会のシーズンでもあります。

年少さんは初めての運動会をどのように楽しむでしょうか。可愛い表現(ダンスや踊りなど)が、楽しみです。園歌にもありますが、「かけっこ」は運動会の定番種目です。お父さんやお母さんをめがけて、一目散に走りこむ姿はとても微笑ましいものがあります。

また、響流の森での遊びが始まります。平均台や崖登り、ロープ乗りなどの遊びを通して、バランス感覚や強い体と粘り強い心を育てたいと考えています。

年中さんは、春に植えた芋の収穫です。さて、どんな大小の芋が、土の中に隠れているか楽しみです。お盆までは、雨の少ない良い天気が続きましたから、きっと旨味たっぷりの芋が収穫できるでしょう。焼き芋パーティーもできるだけ実施したいと思っています。そして、保護者の皆様が、楽しみにしておられる発表会もあります。年少の劇遊びから、成長したお話の劇を、どのように発表できるか楽しみです。

年長さんは、行事満載。稲作りから脱穀、精米までの活動、そして、最後は、ご飯として、手作りの味噌汁と一緒にいただきます。また、年長の特色ある活動の一つ、粘り強くやり抜く力と助け合う心を育てる竹馬乗り、自分の思いを表現する劇の発表会が待っています。どの学年も、多種多様な活動を通して、健やかな体と思いやりのある心、考える頭を鍛えます。